

Special Feature

AFN American Forces Network

～基地の街・音楽の街～ 福生



嘗ては“FEN”（Far East Network）として親しまれ、あの伝説の人気番組『Wolfman Jack Show』やケーシー・ケイサムの『American Top 40』などでお馴染みのラジオ局は、東京都福生市にある横田基地が発信地だ。現在も“AFN”（American Forces Network）と名称を変え、基地関係者だけでなく日本の多くのリスナーに愛され続けている。2007.04.10
【取材 & 文：加瀬正之 取材協力：菅原利隆】

“FEN”から聴こえるDJの声や音楽に耳を傾けているだけでアメリカ気分到了した…。そんな思い出を持つ人は多いだろう。日本に3か所ある米空軍基地の一つとして東京の西の端に位置し、立川市、昭島市、武蔵村山市、福生市、羽村市、瑞穂町の5市1町に接している横田基地。総面積は約7,081,900㎡（東京ドーム約150個分）で、基地内の人口（概数）は11,000人（軍人3,600人/米民間人700人/家族4,500人/日本人従業員2,200人）。基地には在日米軍、第5空軍、第374空輸航空団、第730航空機動中隊、AFN（米軍放送、旧極東放送FEN）、太平洋空軍音楽隊の各司令部をはじめ、消防、警察、病院、学校（小学校から大学まで）の他、スーパーマーケット、銀行、劇場、ゴルフ場、野球場、屋外プール、将校・下士官クラブ、ガソリンスタンドなどがあり、基地の中だけで暮らせるあらゆる設備が揃っている。また、近年“Hootie and The Blowfish”や“Green Day”といったバンドがこの横田基地で慰問ライブを行ったそうだ。『AFN-Tokyo』は、日本を通して30万人以上の米軍基地関係者やその家族に、24時間のラジオ放送とテレビ放送のサービスを提供している東京都福生市米軍横田基地内にある放送局。“Eagle 810”の愛称で親しまれているAMラジオ放送サービスとして、東京エリアを中心にニュースや音楽やスポーツなど幅広いエンタテインメント番組を提供している。また、テレビ放送は基地内でしか視聴できないが、本土カリフォルニアからニュース映像などの様々な情報、また、メジャー・リーグ・ベースボールやアメリカン・フットボールの試合の映像なども全て本土から無料で提供されているという。現在、『AFN-Tokyo』のオフィスには約40人のスタッフが勤務しており、ラジオ局には3人のDJ、テレビ局には8～9人のリポーターが在籍。ここでDJやリポーターとして勤務する人たちは、試験をパスした後、学校で3ヶ月のコースで放送に関する様々な知識を習得し、現場で先輩たちからの指導を受けながら一人前になっている。

第二次大戦後の1945年、東京の第一生命ビル＝旧GHQビルで米軍司令部がラジオを開局したことからその歴史が始まり、その後、NHKビル～キャンブ・ドレイク（埼玉県朝霞）と拠点を移し、1970年半ばに現在の横田基地に“FEN”（現AFN）の建物が誕生した。“FEN”の名称が使われ始めたのは1860年代に入ってからで、1997年衛星放送の導入と同時に名称が“AFN”に変更された。現在でも建物の入り口の壁面には当時のまま“FEN”の文字が残されている。あのウルフマン・ジャックも横田基地を訪れたことがあるそうだ。尚、現在更新中の横田基地の公式ウェブ・サイト上では“AFN”のサイトは閉鎖され、いつ再開するかは未定だが、個人的にお薦めの番組は、懐かしいOldiesやClassic Rockが聴ける『Oldies Radio（Wednesday 21:00～）』や『Rock of Ages（Thursday 21:00～）』。カントリーのゆったりとした響きが日曜の午後には安らぎを与えてくれる『American Country Countdown（Sunday 12:00～）』。そして、あのノスタルジックでアメリカの雰囲気満点だったケーシー・ケイサムの『American Top 40』や『Rick Dees Weekly Top 40』は、現在も『American Top 40（Saturday 12:00～）』として引き継がれ継続中だ。今回はそんな『AFN-Tokyo』の内部に足を踏み入れた！！



国道16号の向こう側が横田基地



AFN建物脇のバラボランテナ



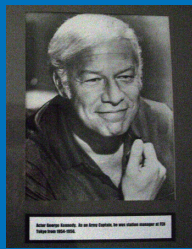
いよいよAFNのオフィスに潜入！長い廊下の壁には数々の賞状や写真、貴重な展示物がズラリ！



これが「Eagle 810」ラジオ生放送中の現場だ！
後方の棚に整然と並ぶのは様々なジャンルのCD



奥のブースで馴染みのDJがラジオ生放送中！
壁にはビートルズやドアーズ、ジミヘンのポスターが！



1954~1956年に陸軍大尉、「FEN Tokyo」支局長として働いていた俳優のジョージ・ケネディの美しいポートレート



こちらは「Eagle 810」スタジオに隣接した編集室
24時間体制でスタッフが番組作りに奮闘し続ける



米本土から送られてくるデータや日本から発信するデータなど、様々な情報を管理するAFNの心臓部！



嘗ての「FEN」時代の放送を録音したアナログ・レコード



ここは「Regional News Center」として太平洋沿岸の各基地に対しても重要な役割を果たすテレビ局の編集室



AFNテレビ局の本番収録が行われるスタジオ内部に潜入！キャスターが産るメインデスクは正に本場アメリカの雰囲気！ライティングからカメラワーク、編集まで常時2人のスタッフで行われているという。TV放送に関するあらゆる知識を学んだ熟練したスタッフはスタジオ・レイアウトなども自ら行う



今回『The Walker's』AFN取材のためにオフィスを案内してくれた「海軍一等兵曹 ラジオチーフ」ウィリアム・ブライスさん(左)と「Regional News Center 下士官責任者」ブレンダン・ヴァルガスさん(右)【AFN取材協力：在日米軍 横田基地 第374空輸航空団 広報部】

2007年『横田基地友好祭』のお知らせ

【日程】2007年8月25(土) & 26日(日)

【時間】9:00~20:00

【場所】横田基地【第5ゲートのみ一般開放】

★入場は【第5ゲート】からのみとなります

最寄り駅 JR 青梅線「牛浜駅」より徒歩10分

【会場には駐車場がないため、電車をご利用ください。一般開放される第5ゲート横には自転車置き場が設置されます。危険物、ペット、クーラーボックス、大型手荷物の持込みはできません。安全管理上、ゲートで写真付身分証明書の確認や手荷物検査を行います。会場内は禁煙です。】

【自動応答案内】横田基地 Tel: 042-552-2511 内線 52100 (7月から開始)

当日は30機以上の米軍機が勢揃い！約200店の屋台が並び、ライブ演奏など催しも盛り沢山！！勿論、「AFN」も出展します。昨年は2日間で計132,000人もの来場者を記録した年に一回だけの一般開放です。是非、ご来場を！

古き良きアメリカと昭和の風情～人情とこだわりの精神が宿る音楽の街～ 福生



一般に「福生」という地名を聞いて、真っ先にイメージされるのはやはり「横田基地」だろうか。嘗ては基地の軍人相手に栄えた「赤線」地区も有名だったが、現在もバーなどの店が通りの両側に建ち並び、地元の人は今でも当時のまま「赤線」と呼んでいる（JR 青根線「福生駅」東口から徒歩5分ほどのエリア）。「横田基地」と平行する国道16号線沿いには、かのニコラ・ザベツキが戦後初めてイタリア本場仕込みのピザの味を日本にもたらし、それ以来伝統の味を守り続けているというピザ・イタリアン「NICOLA（ニコラ）」や、悪野清志郎、東京スカパラダイスオーケストラ、ゴスペラズ等のステージ衣装を手掛ける仕立て屋「テラーK・プラザーズ」も有名だ。

また、意外なところで格闘技関連で「福生」に目を向けると、22回の日連連続防衛記録を持つプロ・ボクシング元日本ライト級王者、リック吉村は横田基地に勤務していた軍人であり、現在「PRIDE」のリングで戦っている元軍内力士の戦闘竜は、立川で生まれ6歳まで横田基地で暮らしていた。（余談だが、最近では待望の第一子を授かり、夫婦でテレビ番組にも出演している女子プロレスラーのジャガー横田は、以前六本木で「横田基地」というクラブ/バーを経営していたが、これは「福生」とは無縁…）

だが、「福生」という街を一躍全国区に押し上げたのは、1970年代初頭の「福生」の街を舞台にした「第十九回群像新人文学賞」と「第七十五回芥川賞」を受賞した村上龍のデビュー作で、後に映画化もされた『限りなく透明に近いブルー』であり、「福生」界隈に「福生45スタジオ」というプライベート・スタジオを持ち、「福生ストラット」という曲も作っている元はびいえんどのメンバーで、日本が誇る偉大なアーティスト、大瀧詠一の存在だろう。また、山田詠美も「福生」に馴染みの深い作家で、彼女原作の映画『シュガー&スパイス 風味絶佳』も「福生」が舞台の映画で、他にも浅野温子初主演映画『スローな歩みで生きてくれ』も「福生」が舞台となっている。

そして、映画といえは「福生」出身の俳優、金井勇太を忘れてはならない。映画『ズッコケ三人組〜怪盗X物語〜』の一般公募オーディションに合格しデビュー。山田洋次監督映画『学校』シリーズの4作目『十五才 学校Ⅳ』の主役に抜擢されて注目を集めるなど、「第24回日本アカデミー賞新人俳優賞」「第10回日本映画批評家大賞新人賞」「第18回高峰映画祭最優秀新人俳優賞」を受賞。近年では『新ライカナイからの手紙』でも素晴らしい演技を披露しており、今年の夏には出演作品『夕嵐の国』、来年には「結婚しようよ」（新春公開）と『ガミ・チョコレート・パイン』の公開を控えている。また、金井は自身でドラマ、エレク、ギター、ベースも弾くなど、ミュージシャンとしての顔も持ち、3月には地元「福生」で初めて企画したイベント『酒と友に歌を。春場所』（P22下参照）を大成功させたばかり。現在22歳、「福生」を愛する注目の若手俳優だ！

今回『The Walkers's』で「AFN」と基地の街「福生」に注目したのは、何を隠そう「福生」は独特の歴史と文化をはぐくんで来た生粋の「音楽の街」だから。同じ東京でも「下北沢」も音楽的な気がある街だが、「福生」は「横田基地」があるという場所から各音楽スポットには、幼少期から「本場」の音楽に慣れ親しんだ軍の関係者が日常的に客として訪れ、演奏する側も自然と彼等から「本物」の刺激を受けるのかもしれない。そして、「福生」という街が持つ人間臭さ・人情味・こだわりの精神も独特な音楽事情を生み出しているのだろう。

右頁では、そんな「福生」の街で音楽を楽しめるスポットを紹介している。取材の際に訪れた「Lennon Fish」（右頁参照）では、店主は右さんともメンバーの女の子3人組ウクレレ・ユニット「タメツ」(3人が同級生+タメから名付けたという) がちょうど勢ぞろいしており、その場で即席ライブを開いてくれ、ビートルズ・ナンバーを披露してくれるなど、音楽の街「福生」ならではの独特の雰囲気を持ち、週末にはハンゴてみたくなる店がたくさんある。勿論、ここで紹介できなかったスポットもたくさんあり、お店以外では、福生市で活動するミュージック・グリエーター・グループで、インディーズ・レーベル、レコーディング、イベント音響、音楽制作等、様々な活動を行っている『BOOSTER RECORDS』があり、国道16号線とJR八高線の間の米軍ハウスが建ち並ぶエリアにアリエを持ち、一人で「Nagomu Guitars」というオリジナル・ギター工房を営んでいる野崎和（のぎさきごむ）さんは、「福生」では知る人ぞ知るギター職人だ。

今回改めて「福生」という街を訪れてみて、何処となくニューヨークのイーストヴィル境界線が持つ雰囲気似ている部分も感じたが、この特集記事を見て「福生」という街に興味を持った方々にも、この街を訪れた際にはそれぞれのお気に入りのスポットを見つけてもらいたい。最後にこの街で生まれ育ち、この街の移り変わりを体験してきた人物で、都内で本業を持ちつつ地元では定期的にライブ活動も行っているミュージシャンの顔を持つ男でもあり、今回の「福生」取材に協力して頂いた「トシタカ（トッシュ）」こと菅原利隆氏に「福生」の魅力について語ってもらった。『福生の魅力は』「ソビド」した時間が流れていてマイペースな街という感じの所かな。だから夏間だけは街に今ひとつ活気がない（笑）。またすぐ近くにも多摩川の日本の自然があるかと思えば片や国道16号線沿いを車で走るとそこはアメリカだっけね。また福生という街に住んでいるからこぞ知り合えたミュージシャン（福生在住僕が日本で一番好きなご機嫌だぜドラマー・チョコ相馬さん）や飲み屋さんや35カレ〜さんでの音楽が縁で男女国籍年齢問わずの交流が出来るのは福生という人情味ある街だからこそなのかなと。』

Niagara Moon
EIICHI OHTAKI

size of CD only
with Bonus CD
A 2-disc set

ナイアガラ・ムーン
大瀧詠一
SACL-5004 ¥2,100 [tax in]

Jack Johnson
CUSTOMS GARAGE

シंगा・ア・ロ・グ・アンド・ラ・イ・ズ・フォー・ザ・フィルム・キ・エ・リ・フ・ジョー・ジャック・ジョンソン・アンド・フレンズ
UICU-9026 ¥1,980 [tax in]

It's alright
YUKOH
BROCD-0006 ¥1,050 [tax in]

福生に根を構えるBOOSTER RECORDS
YUKOHの歌を初収録！

限りなく透明に近いブルー
村上龍 (讀談社)
ISBN: 978-4-06-15131-0
税込価格: ¥370

「存知、七〇年代初頭の福生が舞台となった作品。村上龍のデビュー作！」

The Walkersがお薦める“音楽の街”福生の“音楽を楽しめる”お店10選!

福生の音楽情報発信地! 福生の音楽事情を知るにはまずこのお店!



Lennon Fish

その名の通りビートルズのジョン・レノンに由来する音楽・お酒大好きな“福生人”にはお馴染みのバー。店内にはジョンのポर्टレイトや楽器が飾られ、店主はかざんがセレクトした最高の音楽が流れ、突如生ライブが始まることも…。一度足を踏み入れればハマること間違いなし!

☎: 042-530-8660 (立川駅) 南口にある姉妹店 Lennon Fishも宜しく!
営業時間: 20:30~【定休日】年中無休
住所: 東京都福生市本町73 (JR青梅線「福生駅」西口より徒歩約5分)

“本当は教えたくないけど特別に教えちゃっ…” お洒落で素敵な JAZZ BAR

flax cafe



店内にはしっかりとお酒落るジャズ・ナンバーが流れ、自身でトランペットも演奏する麻葉ママさんが経営する JAZZ BAR。ママさんはじめスタッフは全員女性で、大人の雰囲気か漂うお洒落な隠れ家的スポット。男女問わず一人で安心して立ち寄れる福生に佇む癒しの空間。

☎: 042-553-5970 【ホームページはございません】
営業時間: 20:00-2:00 【定休日】火曜日・第1、3水曜日
住所: 東京都福生市福生873 鈴木ビル2A (JR青梅線「福生駅」東口より徒歩約3分)

“音楽の街”福生が誇る知る人ぞ知るカレー屋さん

35カレーごん



音楽を愛する幸子ママさんが心を込めてじっくり煮込んだ特製カレーが最高! 福生に来たら一度は味わって欲しい。日本人や福生基地に勤務するアメリカ人ミュージシャンによるライブ演奏や毎週アメリカ人講師による英会話教室も行われる異文化交流のレストラン。駅から直ぐ!

☎: 042-551-0290 【http://curry-gon.seesaa.net/】
営業時間: 12:00-15:00/PM17:30-23:00 【定休日】火曜日
住所: 東京都福生市福生799-1 (JR青梅線「福生駅」東口より徒歩約1分)

横田基地の向かいに建つ福生の歴史と共に歩む楽器店

Three Sisters



開業は何と1957年! 国道16号線沿いに佇む歴史ある楽器の名店。2003年10月頃に一時閉店し、改装後昨年12月10日から再オープンしたばかり。地元や近郊の楽器好きから長年愛されてる。福生と横田基地にまつわる音楽・楽器の歴史を知るならこのお店!

☎: 042-551-2426 【ホームページはございません】
営業時間: 15:00-19:30 【定休日】月曜日
住所: 東京都福生市福生2215-8 (JR青梅線「福生駅」東口より国道16号線沿い)

この4月に創立32年を迎えた伝説のライブハウス

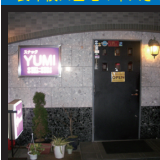
UZU



1975年にRockのライブハウスの草分け的存在としてスタートし、あのStreet Sliders、Ziggy、Jun Sky Walkersなどを輩出した伝説のライブハウス。現在は曜日毎にロック、ブルース、弾き語り、スタンダード・ジャズなど、プロ、アマ問わず様々なジャンルの音楽が楽しめる。

☎: 042-551-9797/042-551-4477 【http://www.geocities.jp/fussauzu21/】
営業時間: 20:00-0:00 【定休日】月曜日・火曜日
住所: 東京都福生市武蔵野台1-3-12 (JR青梅線「福生駅」東口より徒歩約8分)

長年横田基地の軍人さん達からも愛され続ける歴史あるSHOT BAR



スナック YUMI

オープンには1967年! 約6割のお客さんが横田基地に駐在するアメリカ人で、親子二代に渡って通いつめる軍人さんもあるという伝統のSHOT BAR。カラオケもあり、この店の自慢は一度味わったら絶対にやみ付きになる“BLT”さ。店内の壁を眺めると10代裾帯も必見です!

☎: 042-551-3524 【http://www.yasumoto.biz/yumi/】
営業時間: 20:00-5:00 【定休日】日曜日
住所: 東京都福生市福生876-23 (JR青梅線「福生駅」東口より徒歩約5分)

ジャズが聴けるアメリカン・テイスト溢れるレストラン・バー

JESSE JAMES 福生店

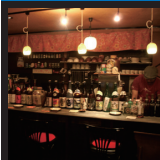


ジャズをBGMMに、本格チャコール焼メキシカンステーキを中心としたアメリカ南部家庭料理と良質なバーボン・ウイスキーやカクテルが楽しめるアットホームな雰囲気があるお店。週末には一流ジャズ・プレイヤーによる生演奏も楽しめる。福生でジャズを聴くならここがお薦め!

☎: 042-551-4222 【http://www.jj-smile.com/】
営業時間: 17:00-24:00 (23:00ラストオーダー) 【定休日】日曜日 (祭日は営業)
住所: 東京都福生市本町72-2 フォーレ福生1F (JR青梅線「福生駅」西口より徒歩約5分)

昭和の音楽と雑貨で和む安らぎの空間〜旨い酒とおでんが絶品!

BeanS Kitchen



音懐かしい昭和の音楽を聴きながら、旨い酒と絶品の料理でゆったりとつちろげる福生のおでん屋さん。品書きを含め店内に飾られた書は、「空豆制作所。」の主宰で、業書家「空豆」として活躍する店主空豆さんの手によるものです。(ランチの宴会などの予約は承ります。)

☎: 090-5406-2520 【http://blog.goo.ne.jp/taamao75/】
営業時間: 17:00-10:00 (ラストオーダー) 【定休日】日曜日・月曜日 (宴会のみ承ります)
住所: 東京都福生市本町91 2F (JR青梅線「福生駅」西口より徒歩約4分)

“音楽の街”福生のミュージシャンご用達の楽器工房

楽器工房 Cat Rock



2006年1月に福生にオープンした楽器販売、メンテナンスを行う楽器工房。オーナーの大崎さんと娘さんがマネージャーの加藤未さんが丁寧に対応してくれます。また音楽教室を西口徒歩6分にあるAONEKOで開いている。“音楽の街”福生を支える楽器職人のお店。

☎: 042-551-0052 【http://cat-rock.com/】 AONEKO ☎: 042-505-9250
営業時間: 13:00-20:00 【定休日】水曜日
住所: 東京都福生市福生867-14 シーサーレジデンス福生101 (JR青梅線「福生駅」東口より徒歩約5分)

オープン32周年を迎えた福生が誇る名ライブハウス!

Chicken Shack



ジャンルを超えた出演バンドの豊富さはこのここが一番だろう。入り口横のバー・カウンターを抜け、右奥に広がるステージには福生の音楽シーンを支え続けた32年の伝統と歴史が息づく。週末は始末まで営業しているので、福生の街で音楽にとっぴり浸るには最適なスポット!

☎: 042-552-4826 【http://phussa.net/】
営業時間: 20:00~ 【定休日】月曜日・火曜日
住所: 東京都福生市福生876 (JR青梅線「福生駅」東口より徒歩約5分)